

わたしの終活は南無阿彌陀仏

10組 法嚴寺 坂 隆史

私は、退職を機会に終活を始めることにしました。それは、日本では 50 年ほど前なら平均寿命が 60 歳ほどだと知ったからです。これからは余命を阿彌陀様におすがりして生きようと考えたのです。

それで始めた事が 2 つあります。

まず一つ目は、1 日 100 円募金です。命が 1 日あったことを阿彌陀様に感謝して 100 円を貯金箱にいれるのです。しかし、これが毎日きちっとできません。100 円玉がなかったり、忘れてたりします。そんなことがあると、お金がある時にまとめて入れたりします。そんな時思うのです。明日をもしれない命のはずなのに、何を自分の命の予約を阿彌陀様にしているのだとうと、そんな自分にあきれてしまいます。

二つ目は、病気のことは阿彌陀様にお任せして生きるということで、健康診断を受けることをやめました。そうするといろいろな不安が、湧いていきます。そんな時はお念仏を称えて南無阿彌陀仏。膝にちょっと違和感があると、正座が出来なくなるのではないかと心配になります。そんな時も南無阿彌陀仏。不安がなくなって南無阿彌陀仏。

しかし、この前カゼをひいた時です。副鼻腔炎になり鼻が痛くて痛くて仕方がなくなりました。そこで医者へ行くことを真剣に考えたのです。幸い薬局にこの症状に効く薬があったのでよかったのですが、痛い苦しいはやはりお医者様をお願いするしかないのですね。一心一向にお念仏することは難しいですね。